

「企業経営におけるリスクマネジメントの基礎知識」 開催



12月10日 JJK 会館にて、セミナー「企業経営におけるリスクマネジメントの基礎知識」を開催した。参加者は75名。

講師の亀崎洋氏(東京海上日動リスクコンサルティング(株)ビジネスリスク事業部上席主席 研究員)から、以下のような解説があった。

■ 巨大化、複雑化する企業のリスク

巨大化・複雑化してきたこと、企業リスクに対する市場や社会の見方が変わってきたことが最近のリスクの特徴である。

■ 企業のリスクマネジメントプロセス

「戦力」「財務」「ハザード」「オペレーショナル」等の企業リスクにリソースをどのくらい配分してどうコントロールしていくか。これがリスクマネジメントであり、経営そのものともいえる。

リスクマネジメントには「実施体制の構築」「洗い出し」「評価・選別」「必要な対応策の実施」「モニタリング」のプロセスがある。

■ 役員の責任と法令遵守

役員・経営者は法的にリスク管理体制構築義務を負っていること、また不十分なリスク管理により会社に損害が発生した場合、巨額の賠償責任を負うリスクがあることを認識する必要がある。

■ メディア対応の基本、損失の危機管理

問題が発生した場合、単なるトラブルを事件としないため適切にメディアに対応することが重要である。

企業経営には、実践的なリスク管理体制と事業継続計画(BCP)確立、バランスの取れた財務面におけるリスク対策が強く求められている。

(赤尾)